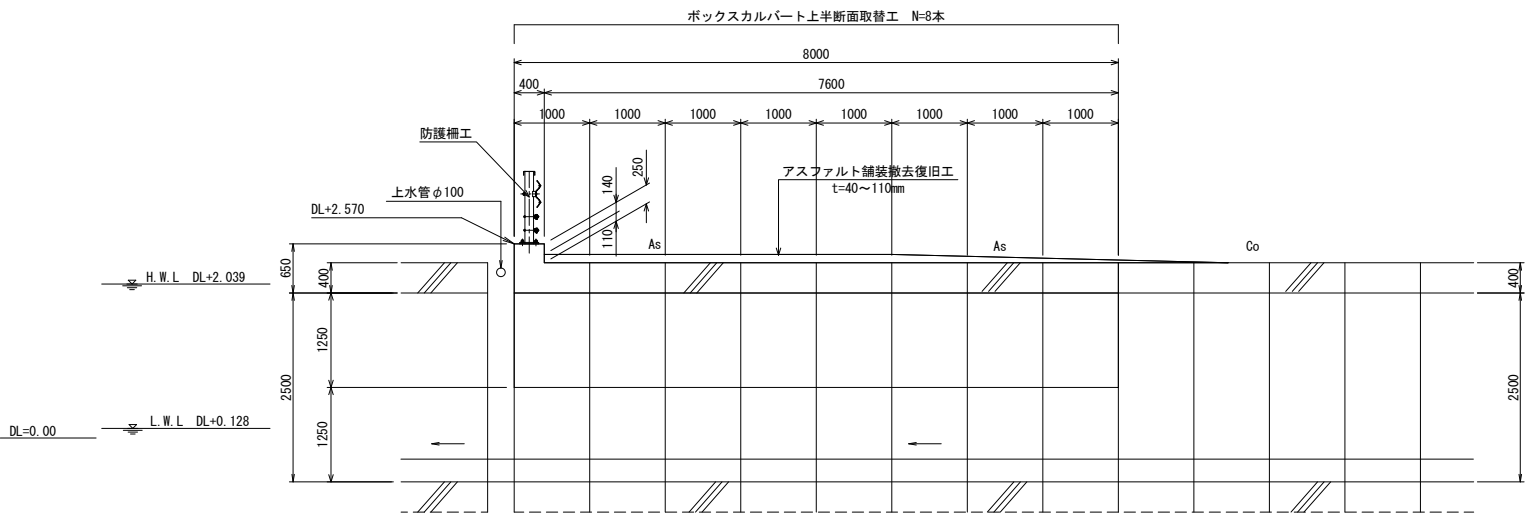


船越7号橋 修繕工一般図

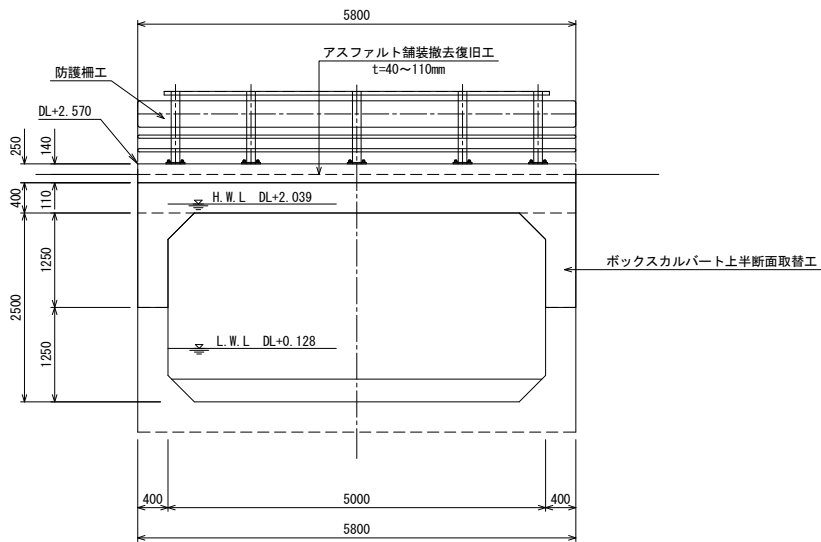
側 面 図

S=1:50



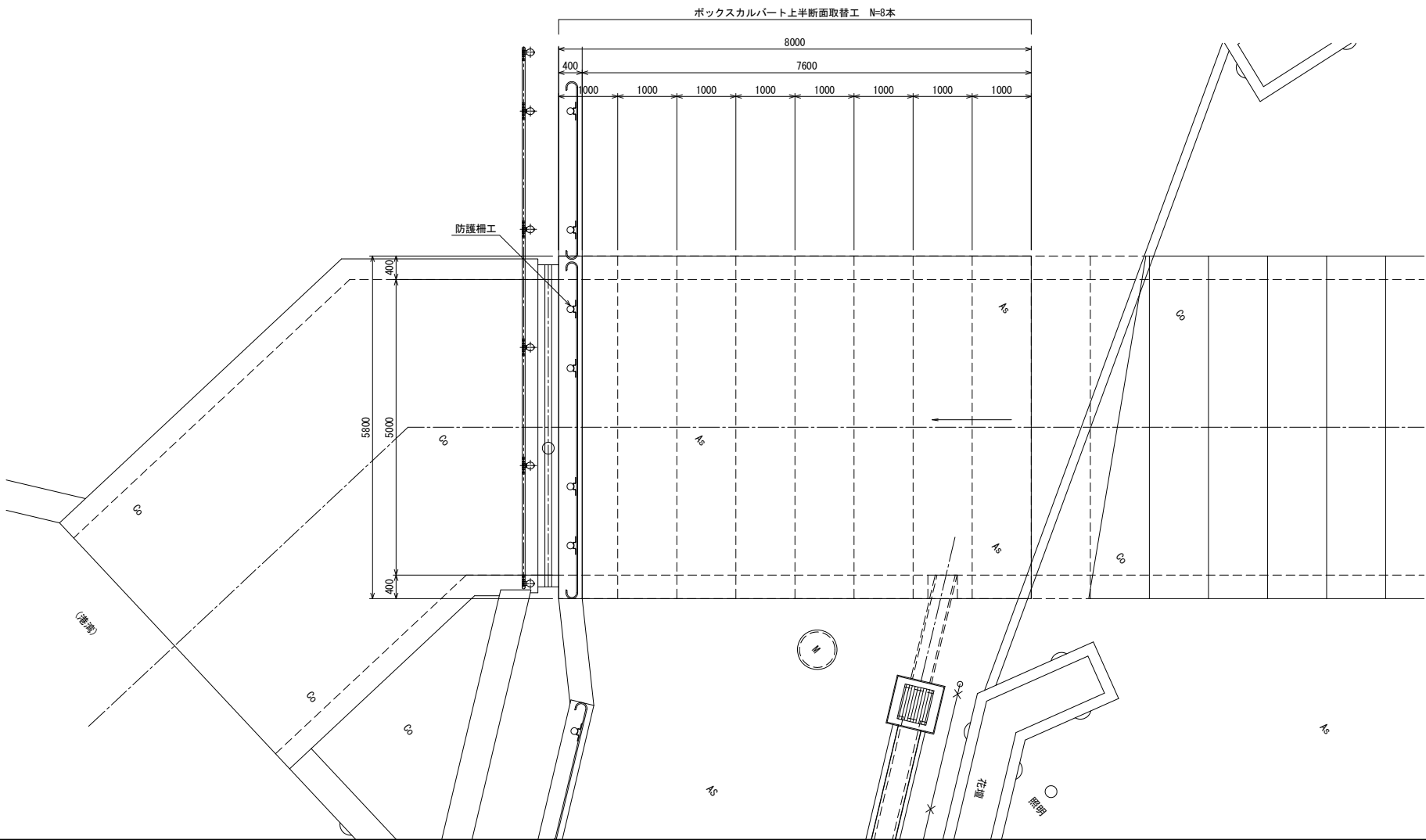
断 面 図

S=1:50



平 面 図

S=1:50



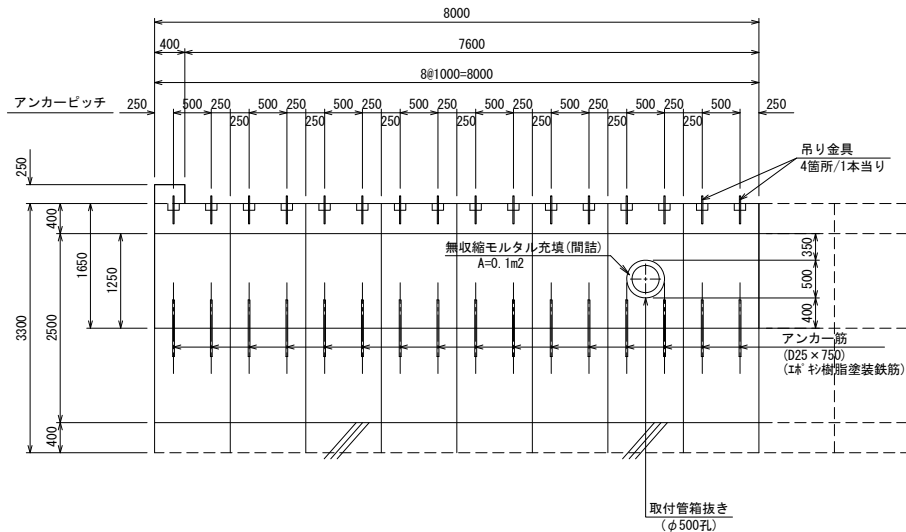
注記：1) 本工事は潮待ち作業が発生するため、施工計画立案時にはこれを留意すること。
2) 既設構造物においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。

工 事 名	第2A1大001号 社会資本整備総合交付金事業			
図 面 名	船越7号橋 橋梁改築工事			
年 月 日	修 繕 工 一 般 図			
尺 度	図 示	図面番号	12	1 葉之内
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

ボックスカルバート上半断面取替工構造図

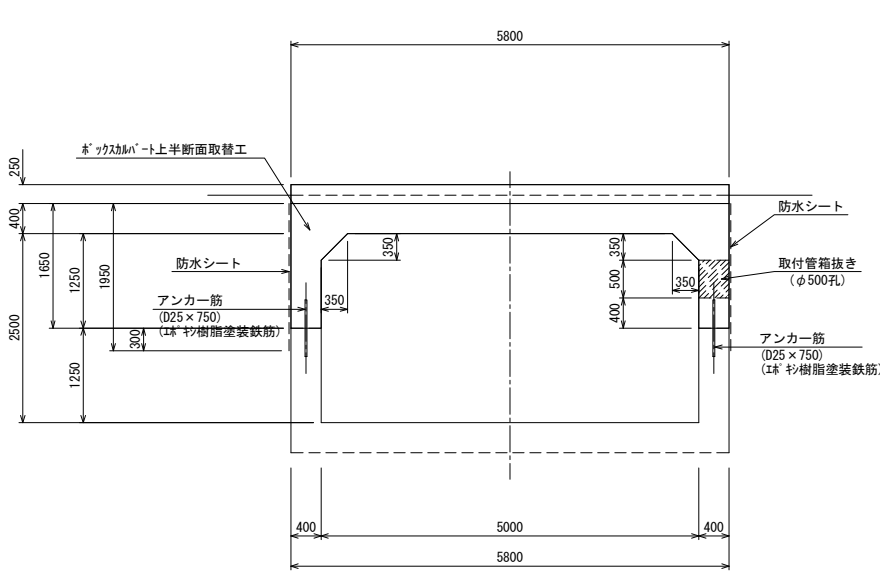
側面図

S=1:50



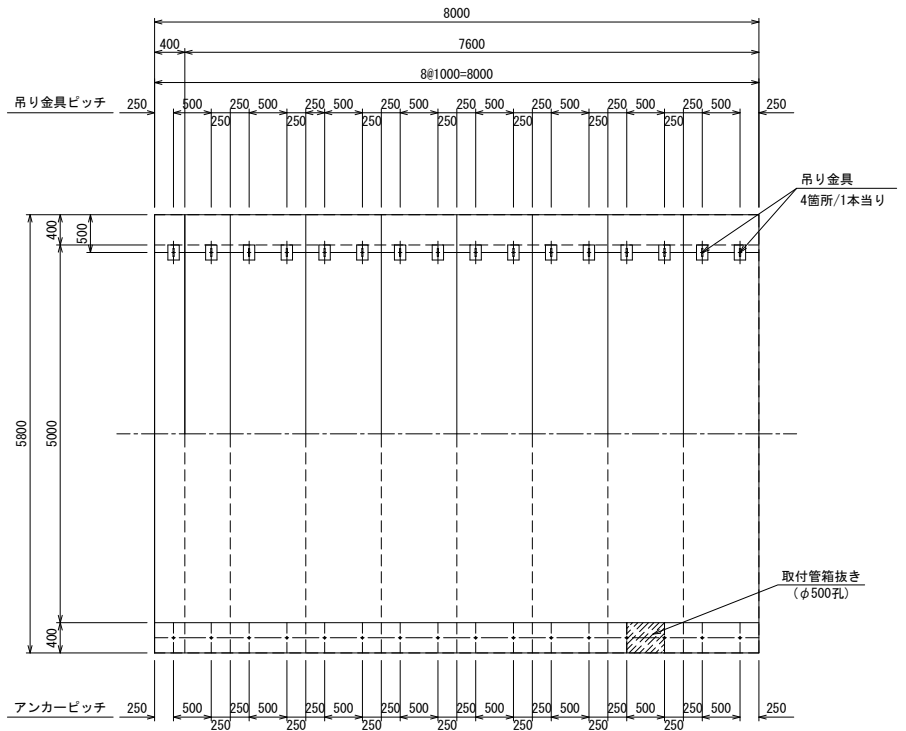
断面図

S=1:50



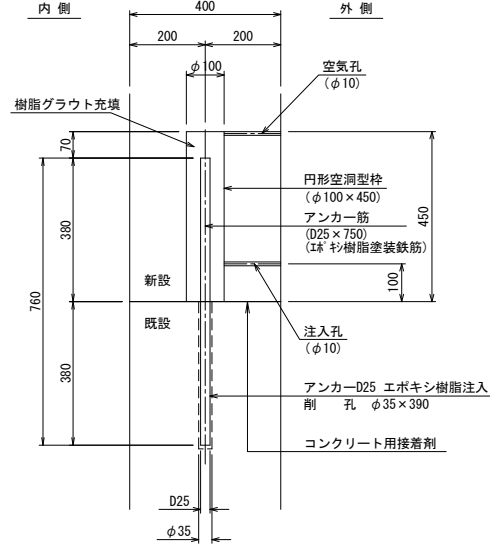
平面図

S=1:50



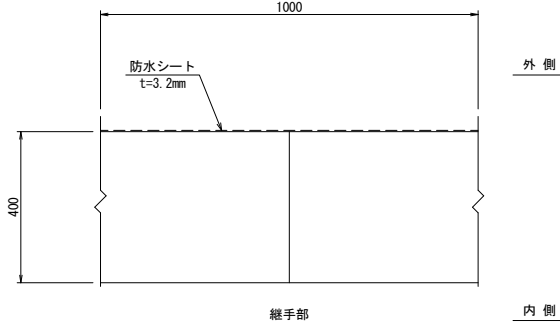
アンカー詳細図

S=1:10



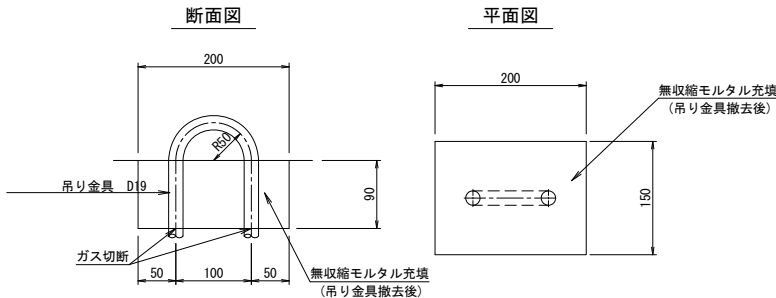
継手部詳細図

S=1:10



吊り金具詳細図

S=1:5



※ 吊り金具取付部は、吊り金具切断後に無収縮モルタルを充填すること。

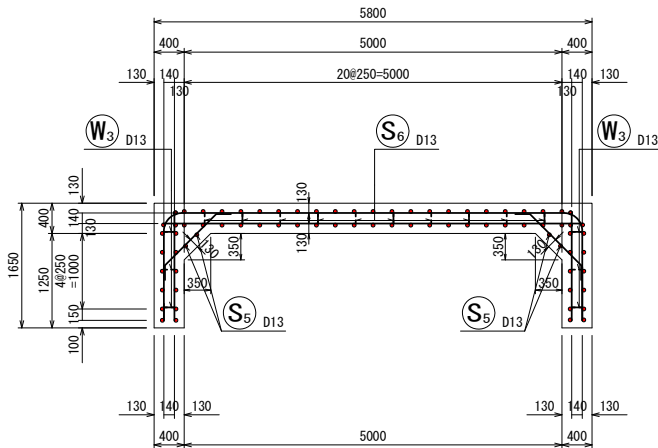
- 注記：1) 本工事は潮待ち作業が発生するため、施工計画立案時にはこれを留意すること。
- 2) 既設構造物においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
- 3) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。
- 4) アンカー筋は、15D以上の定着長を確保すること。

工事名	第2A1大001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事		
図面名	ボックスカルバート上半断面取替工構造図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	12 表之内 2
会社名			
事務所名	志摩市		

ボックスカルバート配筋図(1)

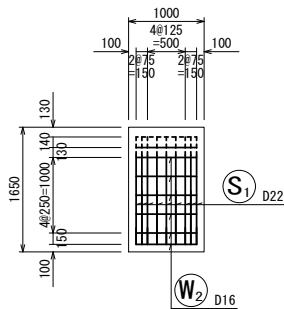
断面図

S=1:50



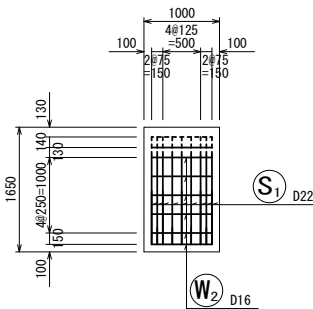
3-3左側壁外面図

S=1:50



6-6右側壁外面図

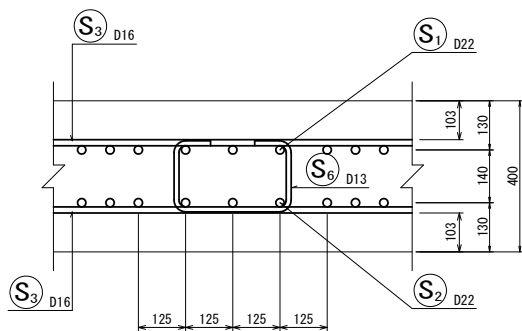
S=1:50



組立図

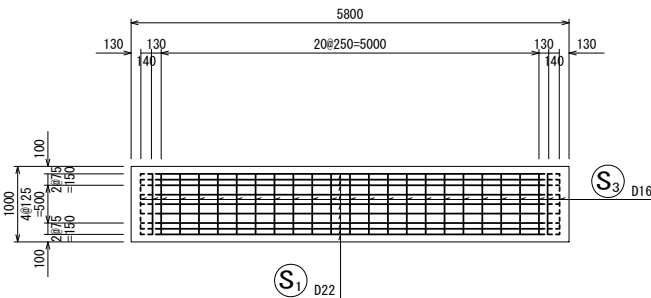
頂版部

S=1:10



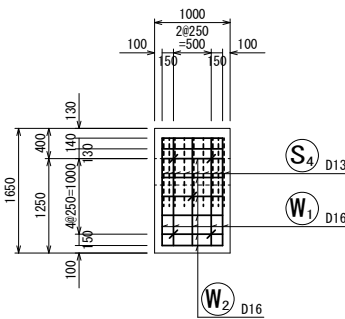
1-1頂版上面図

S=1:50



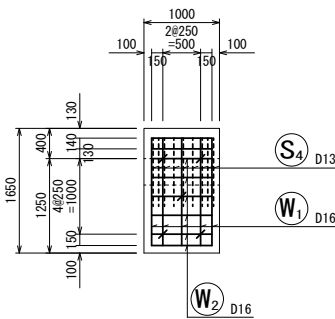
4-4左側壁内面図

S=1:50



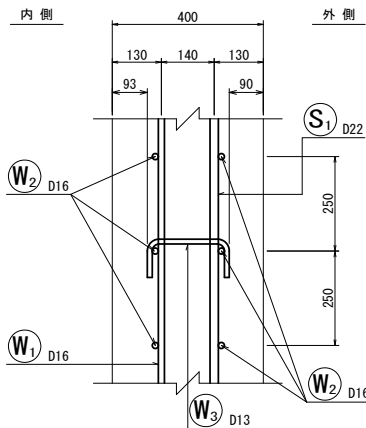
5-5右側壁内面図

S=1:50



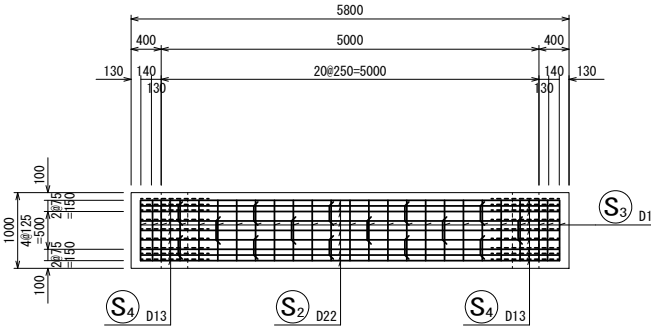
側壁部

S=1:10

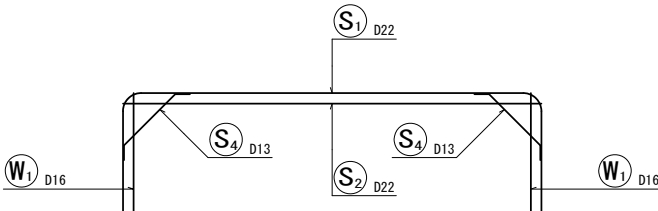


2-2頂版下面図

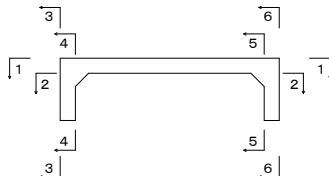
S=1:50



主鉄筋組立図

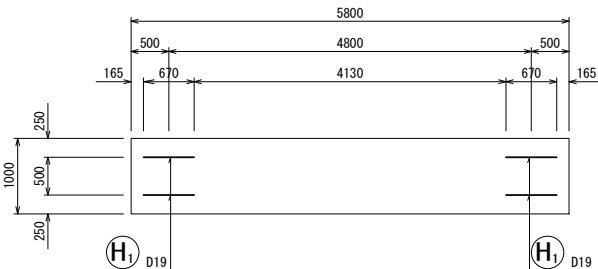


位置図



吊金具配置図

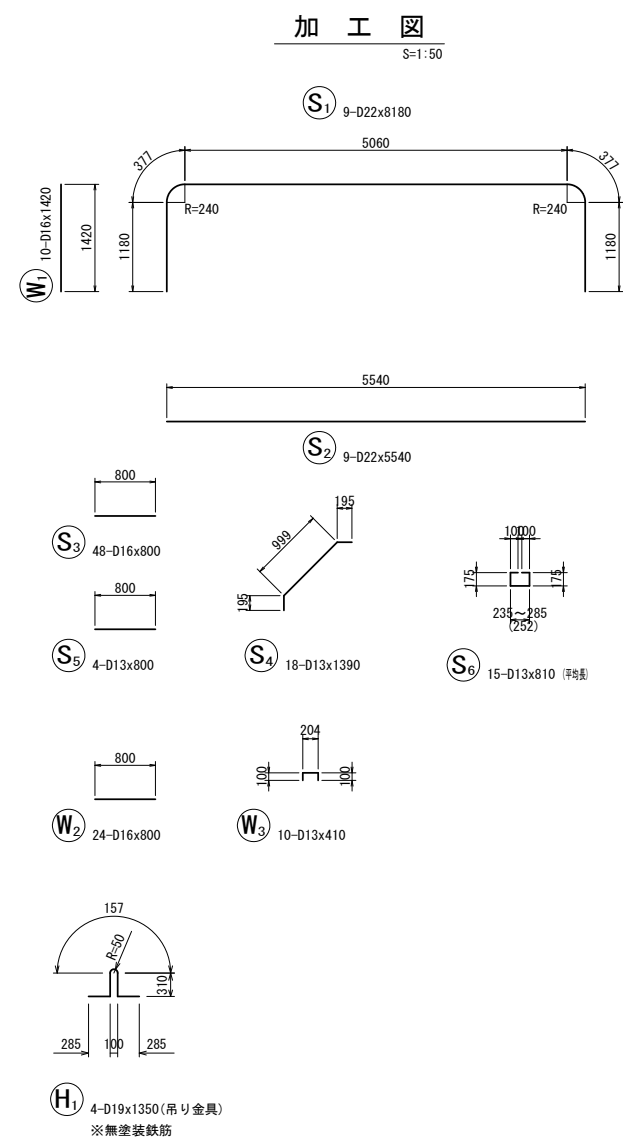
S=1:50



注記：1) 鉄筋の最小かぶり厚（純かぶり）は90mmとする。
2) エポキシ樹脂塗装鉄筋の運搬・加工・組み立て等に当たっては、「エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針」に準拠すること。

工事名	第2A1大001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事		
図面名	ボックスカルバート配筋図(1)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	12 表之内 3
会社名			
事務所名	志摩市		

ボックスカルバート配筋図(2)



鉄筋表

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1 本 当 り 質 量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
S1	D22	8180	9	3.04	24.867	224	┌─┐
S2	D22	5540	9	3.04	16.842	152	──
S3	D16	800	48	1.56	1.248	60	──
S4	D13	1390	18	0.995	1.383	25	┌─┐
S5	D13	800	4	0.995	0.796	3	──
S6	D13	810	15	0.995	0.806	12	┌─┐ (平巻)
W1	D16	1420	10	1.56	2.215	22	
W2	D16	800	24	1.56	1.248	30	──
W3	D13	410	10	0.995	0.408	4	┌─┐
H1	D19	1350	4	2.25	3.038	12	┌─┐ (吊り金具)
Ⅰ※ 杉樹脂塗装鉄筋				SD345	D22	376 kg	
無塗装鉄筋				SD345	D19	12 kg	
Ⅰ※ 杉樹脂塗装鉄筋				SD345	D16	112 kg	
Ⅰ※ 杉樹脂塗装鉄筋				SD345	D13	44 kg	
Ⅰ※ 杉樹脂塗装鉄筋				SD345	合計	532 kg	
無塗装鉄筋				SD345	合計	12 kg	

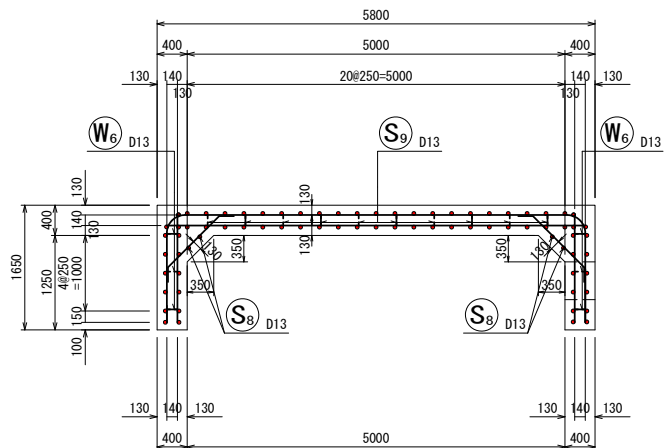
注記：1) エポキシ樹脂塗装鉄筋の運搬・加工・組み立て等に当たっては、「エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針」土木学会発行」に準拠すること。

工 事 名	第2A1次001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事			
図 面 名	ボックスカルバート配筋図(2)			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	12	4 葉之内
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

ボックスカルバート配筋図(3)
(取付管箱抜き部)

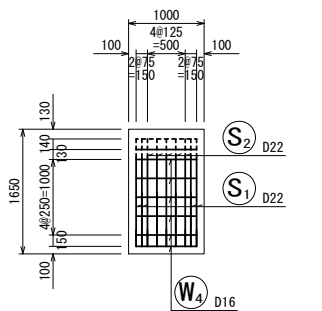
断面図

S=1:50



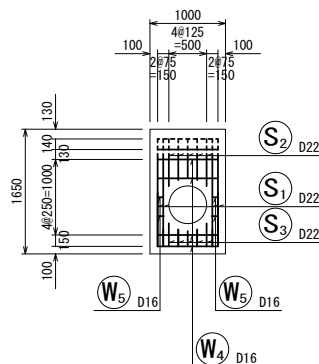
3-3左側壁外面図

S=1:50



6-6右側壁外面図

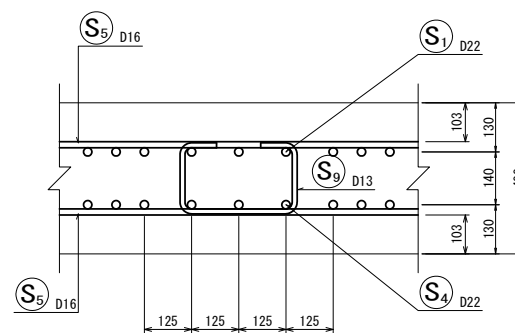
S=1:50



組立図

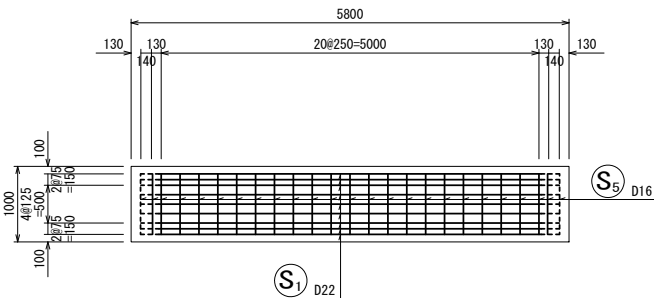
頂版部

S=1:10



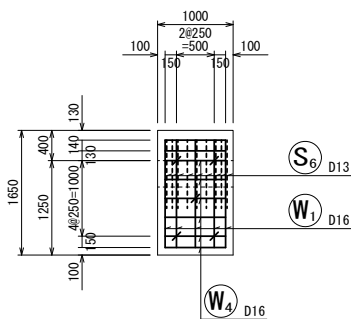
1-1頂版上面図

S=1:50



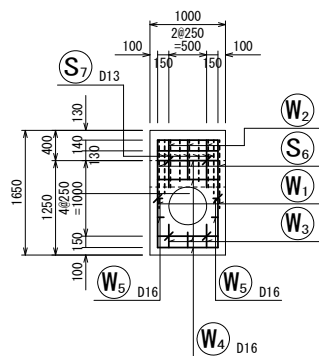
4-4左側壁内面図

S=1:50



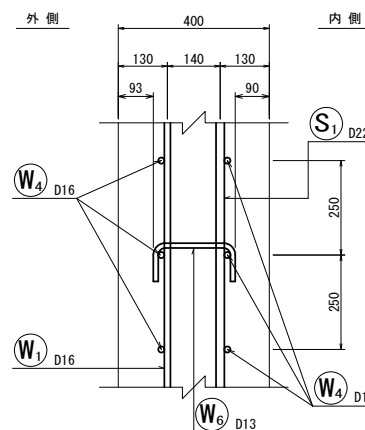
5-5右側壁内面図

S=1:50



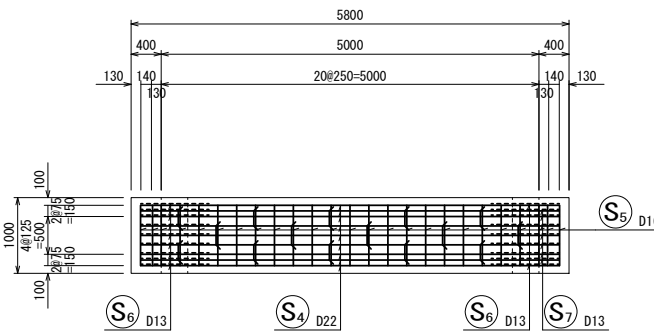
側壁部

S=1:10

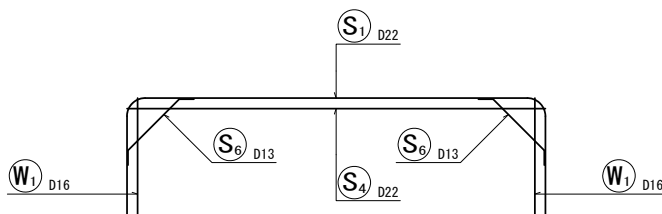


2-2頂版下面図

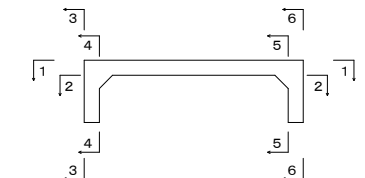
S=1:50



主鉄筋組立図

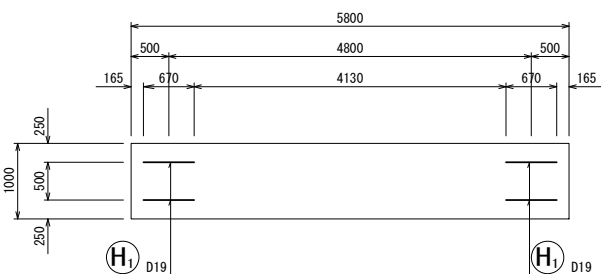


位置図



吊金具配置図

S=1:50



注記：1) 鉄筋の最小かぶり厚（純かぶり）は90mmとする。
2) エポキシ樹脂塗装鉄筋の運搬・加工・組み立て等に当たっては、「エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針」に準拠すること。

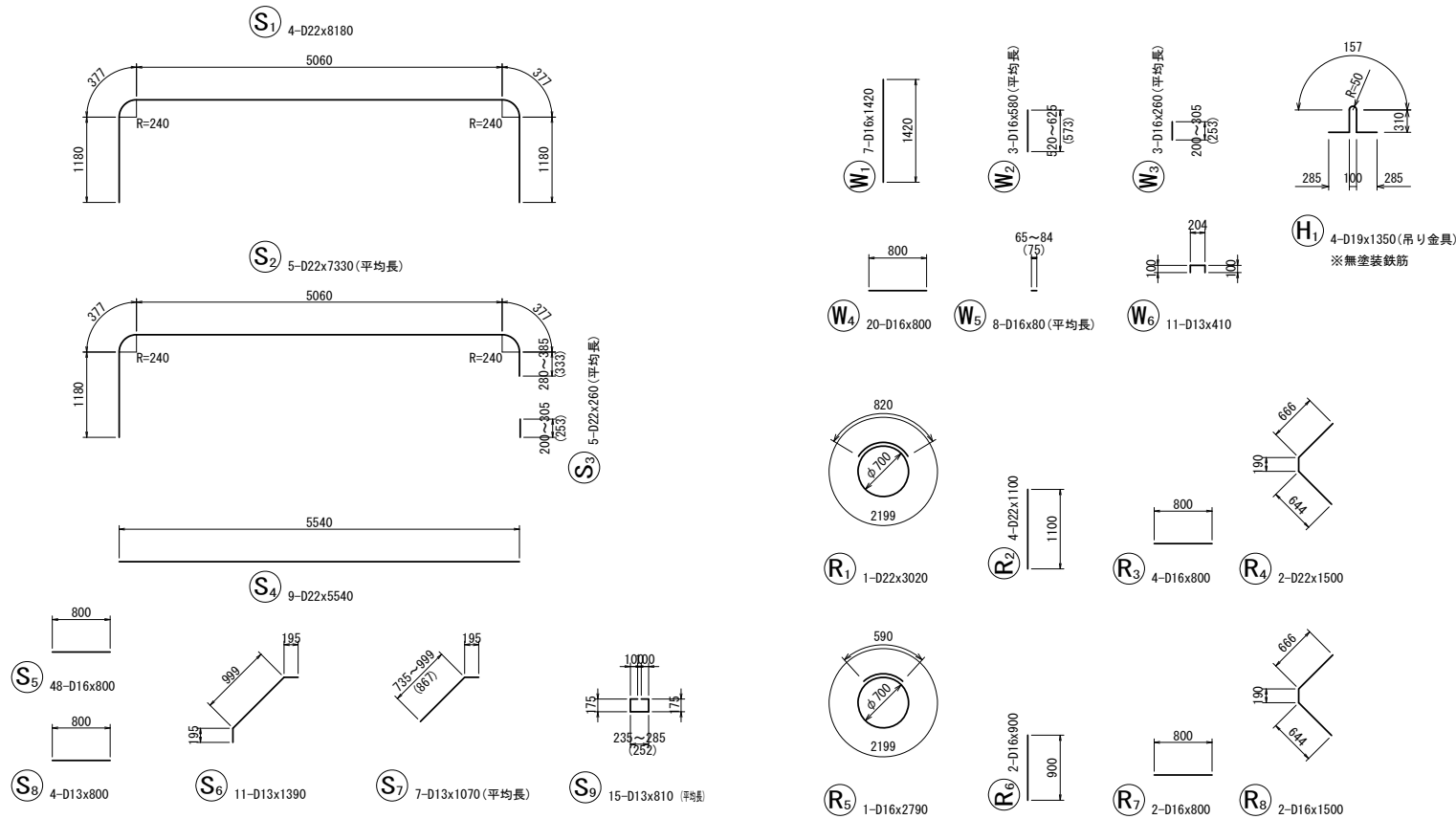
工事名	第2A1大001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事				
図面名	ボックスカルバート配筋図(3)				
年月日					
尺度	図示	図面番号	12	表之内	5
会社名					
事務所名	志摩市				

ボックスカルバート配筋図(4)

(取付管箱抜き部)

加工図

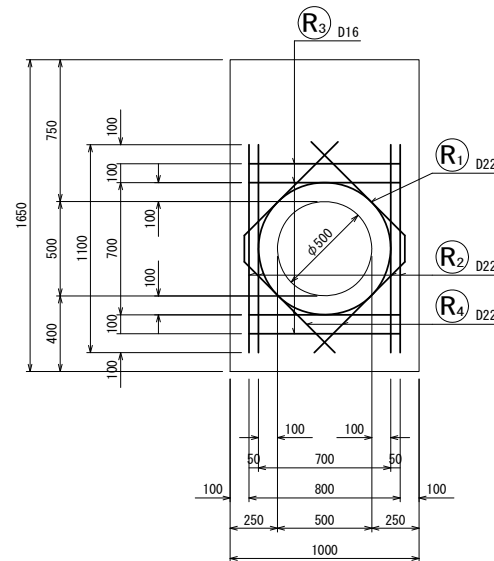
S=1:50



取付管箱抜き部

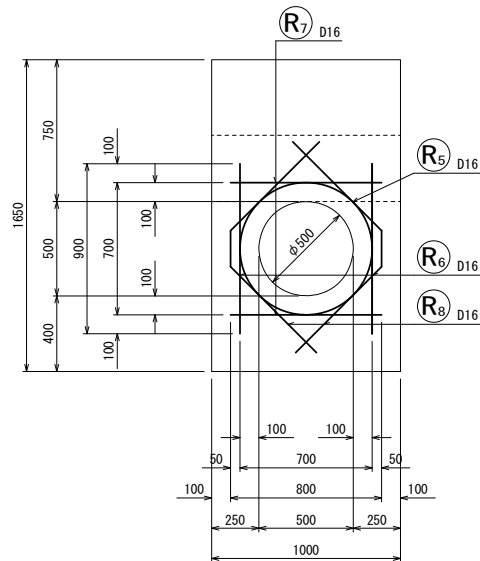
8-8右側壁外面図

S=1 : 20



























7-7右側壁内面図

S=1:20



鉄筋表

1本当り

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
S1	D22	8180	4	3.04	24.867	99	
S2	D22	7330	5	3.04	22.283	111	 (平巻)
S3	D22	260	5	3.04	0.790	4	 (平巻)
S4	D22	5540	9	3.04	16.842	152	
S5	D16	800	48	1.56	1.248	60	
S6	D13	1390	11	0.995	1.383	15	
S7	D13	1070	7	0.995	1.065	7	 (平巻)
S8	D13	800	4	0.995	0.796	3	
S9	D13	810	15	0.995	0.806	12	 (平巻)
W1	D16	1420	7	1.56	2.215	16	
W2	D16	580	3	1.56	0.905	3	 (平巻)
W3	D16	260	3	1.56	0.406	1	 (平巻)
W4	D16	800	20	1.56	1.248	25	
W5	D16	80	8	1.56	0.125	1	 (平巻)
W6	D13	410	11	0.995	0.408	4	
R1	D22	3020	1	3.04	9.181	9	
R2	D22	1100	4	3.04	3.344	13	
R3	D16	800	4	1.56	1.248	5	
R4	D22	1500	2	3.04	4.560	9	
R5	D16	2790	1	1.56	4.352	4	
R6	D16	900	2	1.56	1.404	3	
R7	D16	800	2	1.56	1.248	2	
R8	D16	1500	2	1.56	2.340	5	
H1	D19	1350	4	2.25	3.038	12	 (原引巻)
I [※] 杉樹脂塗装鉄筋				SD345	D22	397 kg	
無塗装鉄筋				SD345	D19	12 kg	
I [※] 杉樹脂塗装鉄筋				SD345	D16	125 kg	
I [※] 杉樹脂塗装鉄筋				SD345	D13	41 kg	
I [※] 杉樹脂塗装鉄筋				SD345	合計	563 kg	
無塗装鉄筋				SD345	合計	12 kg	

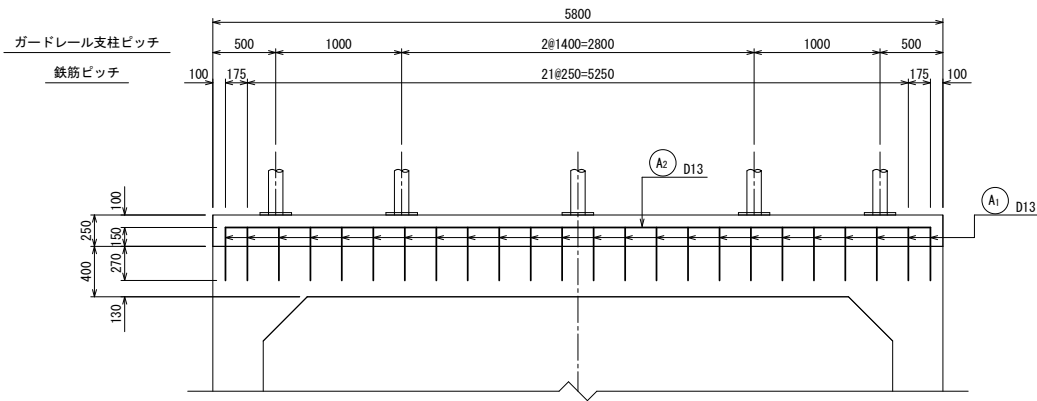
注記：1) エポキシ樹脂塗装鉄筋の運搬・加工・組み立て等に当たっては、「エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針」土木学会発行）に準拠すること。

工 事 名	第2A1-001号 社会資本整備総合交付金事業 船越/号橋 橋梁改築工事		
図 面 名	ボックスカルバート配筋図(4)		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	12 裏之内 6
会 社 名			
事務所名	志 摩 市		

地 覆 構 造 配 筋 図

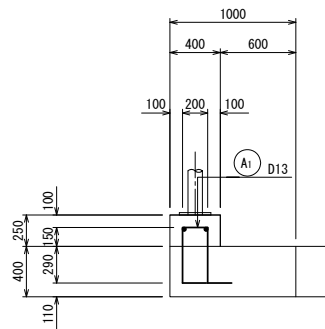
正 面 図

S=1:30



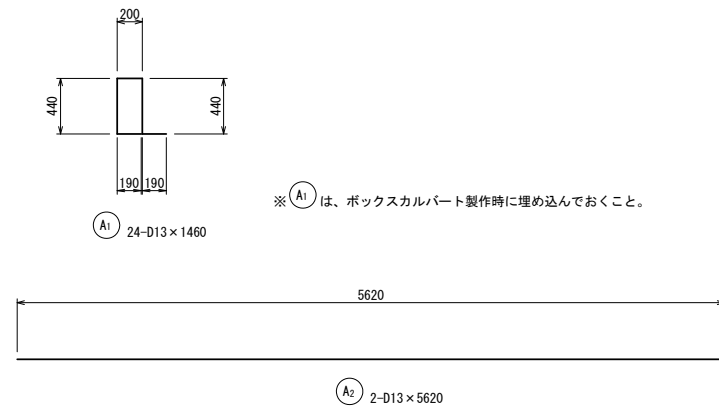
断 面 図

S=1:30



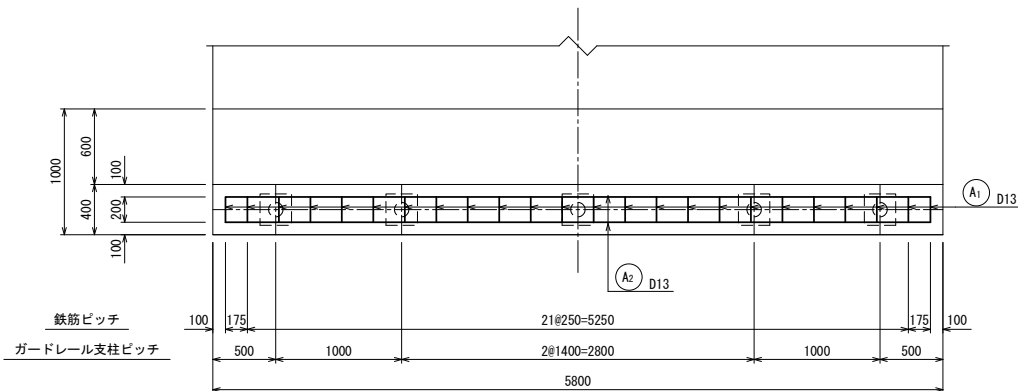
加 工 図

S=1:30



平 面 図

S=1:30



鉄筋重量表

記号	径	長 さ	単位重量	1本当り重量	本数	重 量	形 状	摘 要
A1	D13	1460	0.995	1.453	24	35	□	
A2	D13	5620	0.995	5.592	2	11	—	
Epoxy resin coated reinforcement				SD345	D13	46	kg	
Epoxy resin coated reinforcement				SD345	合計	46	kg	

注記：1) 鉄筋の最小かぶり厚（純かぶり）は90mmとする。

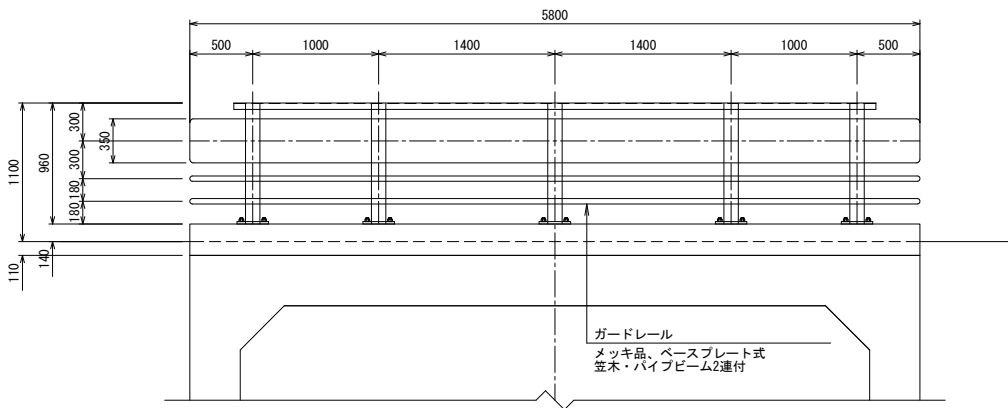
2) エポキシ樹脂塗装鉄筋の運搬・加工・組み立て等に当たっては、「エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針」土木学会発行」に準拠すること。

工 事 名	第2A1次001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事				
図 面 名	地 覆 構 造 配 筋 図				
年 月 日					
尺 度	図 示	図面番号	12	7	葉之内
会 社 名					
事務所名	志 摩 市				

防護柵工詳細図

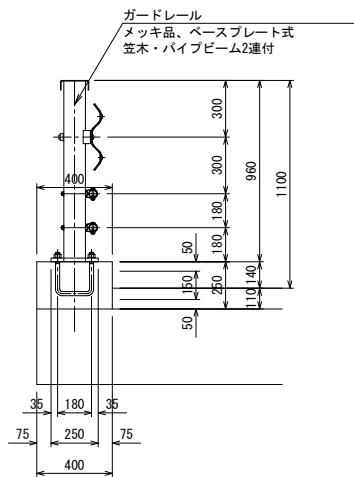
正面図

S=1:30



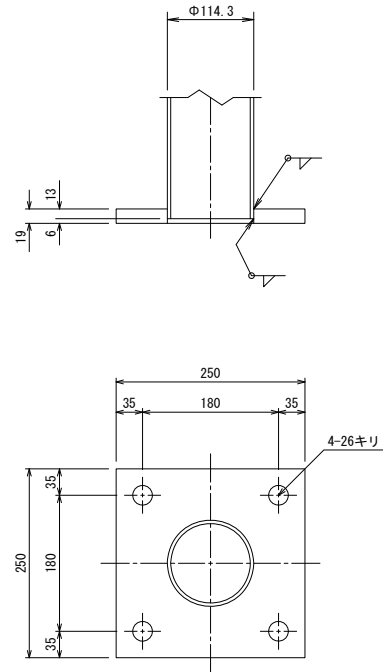
断面図

S=1:20



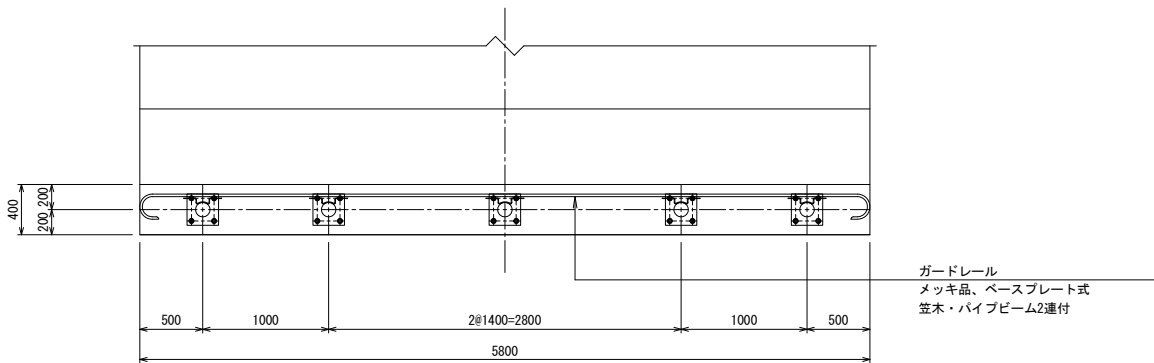
ベースプレート詳細図

S=1:5



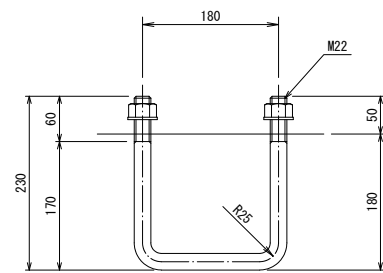
平面図

S=1:30



Uボルトアンカー詳細図

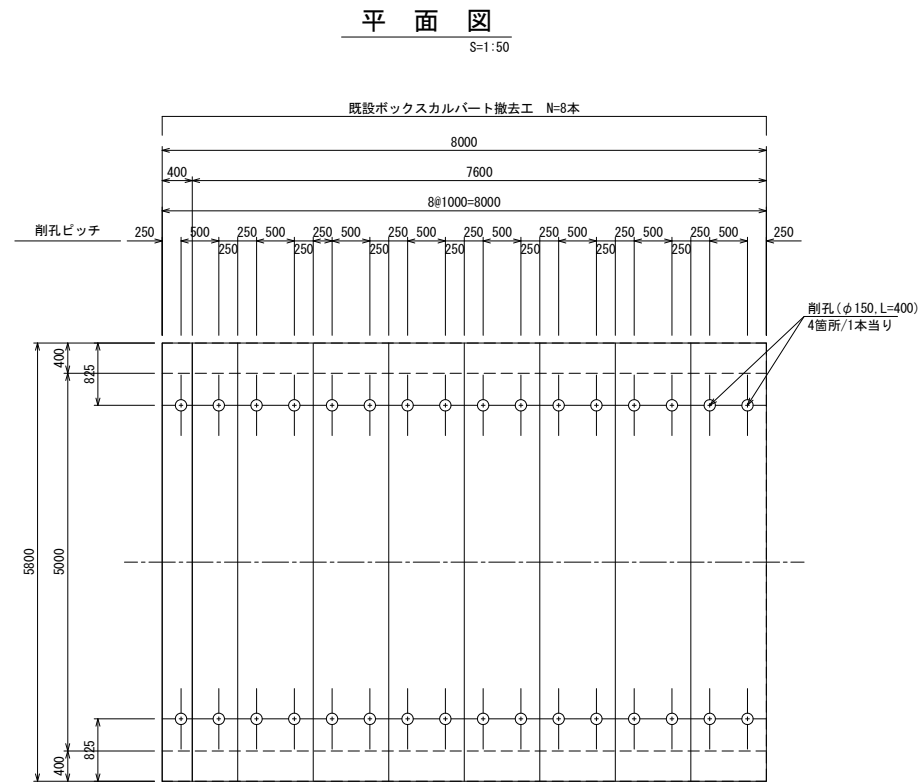
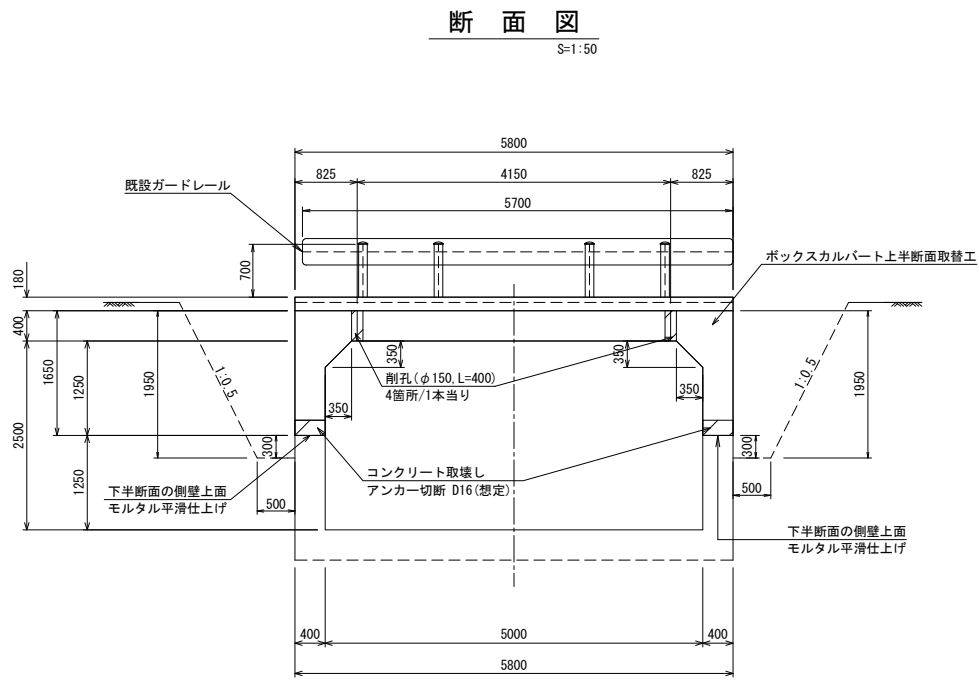
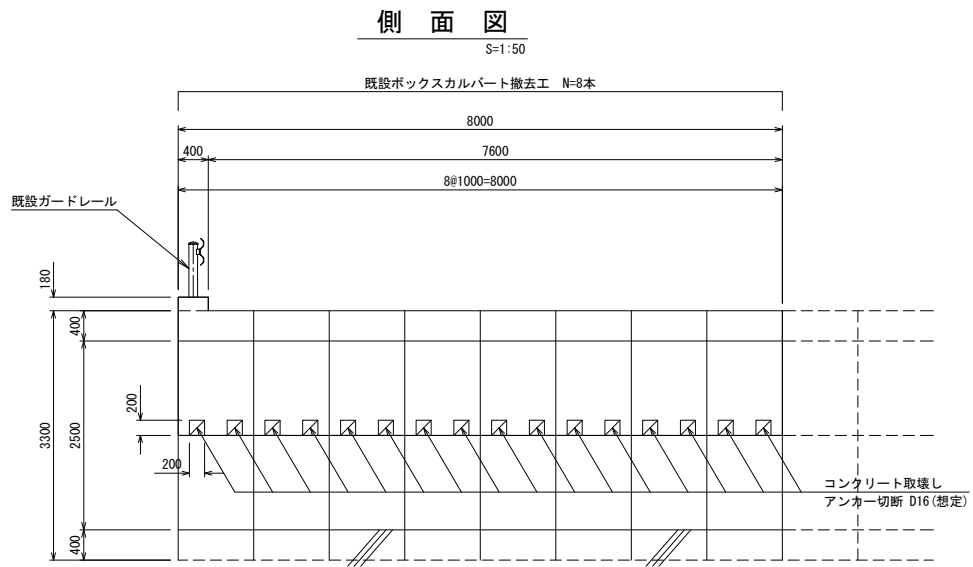
(M22×600, 両ネジ切り) S=1:5



※Uボルトアンカーは、地覆コンクリート打設時に埋め込んでおくこと。

工事名	第2A1次001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事			
図面名	防護柵工詳細図			
年月日				
尺度	図示	図面番号	12	葉之内 8
会社名				
事務所名	志摩市			

ボックスカルバート上半断面撤去工構造図

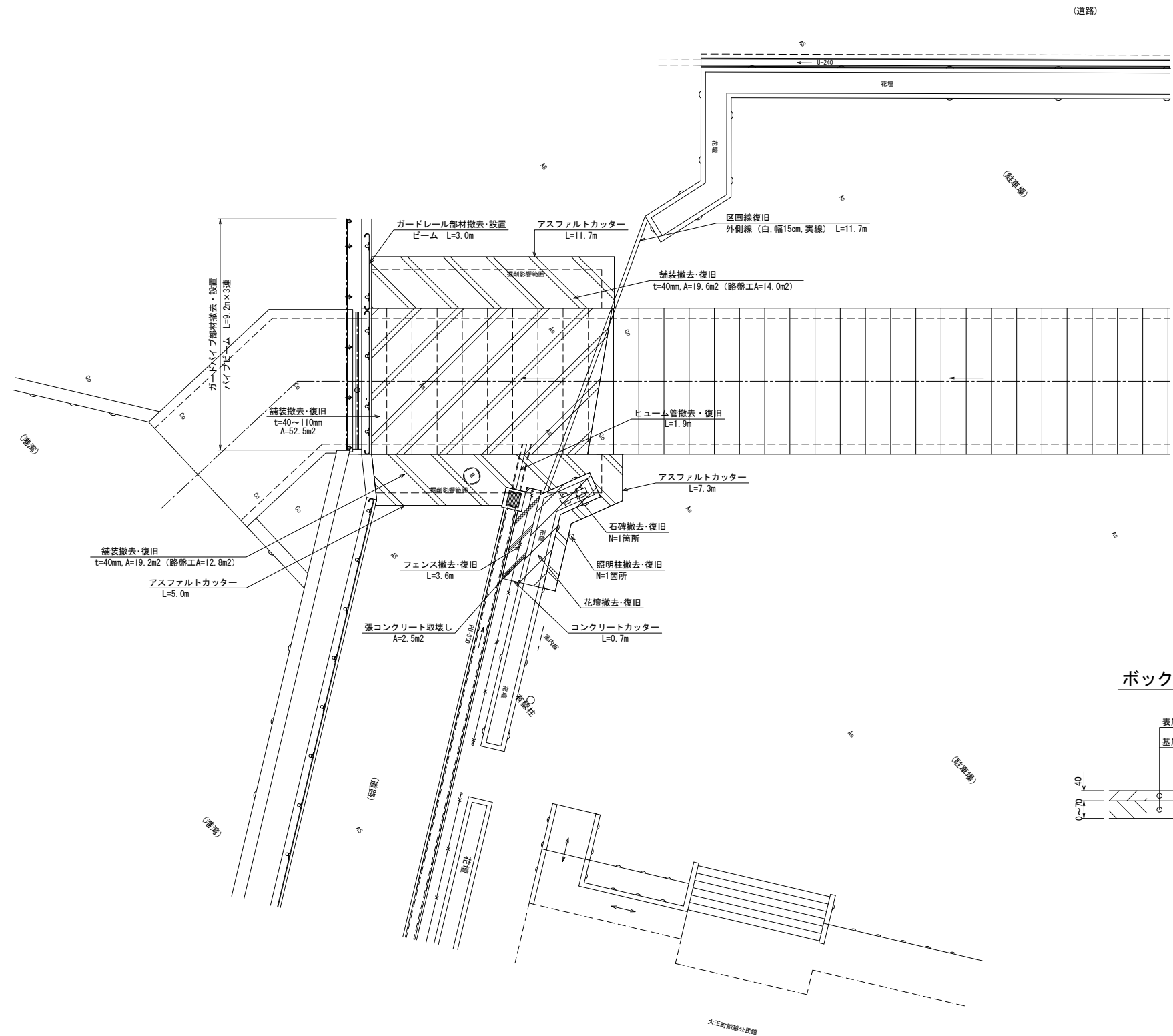


注記: 1) 本工事は潮待ち作業が発生するため、施工計画立案時にはこれを留意すること。
2) 既設構造物においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
3) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。
鉄筋探査の実施は、代表する1部材において試験を行い、残置するボックスカルバート下半断面の
背面2箇所を実施する。
4) 側壁の上下接続部は、代表する部材1箇所試験施工を行い、アンカー筋等の位置を確認すること。

工 事 名	第2A1次001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事			
図 面 名	ボックスカルバート上半断面撤去工構造図			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	12	9 葉之内
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

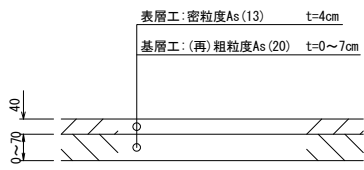
撤去復旧工平面図

平面図
S=1:100

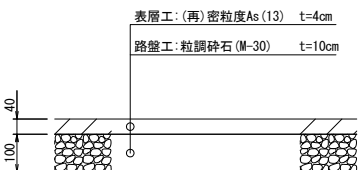


舗装構成図
S=1:10

ボックスカルバート部



一般部



注記：既設構造物においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

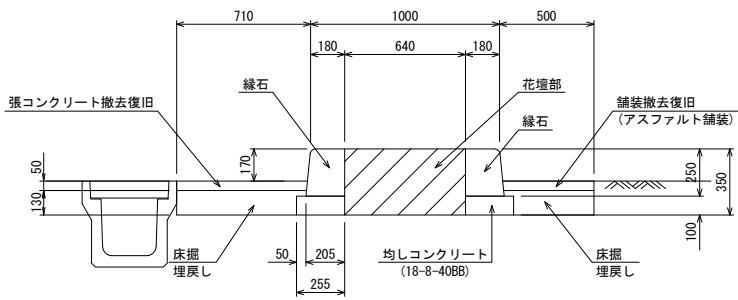
工事名	第2A1大001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事			
図面名	撤去復旧工平面図			
年月日				
尺度	図示	図面番号	12	10 葉之内
会社名				
事務所名	志摩市			

撤去復旧工構造図(1)

花壇撤去復旧工

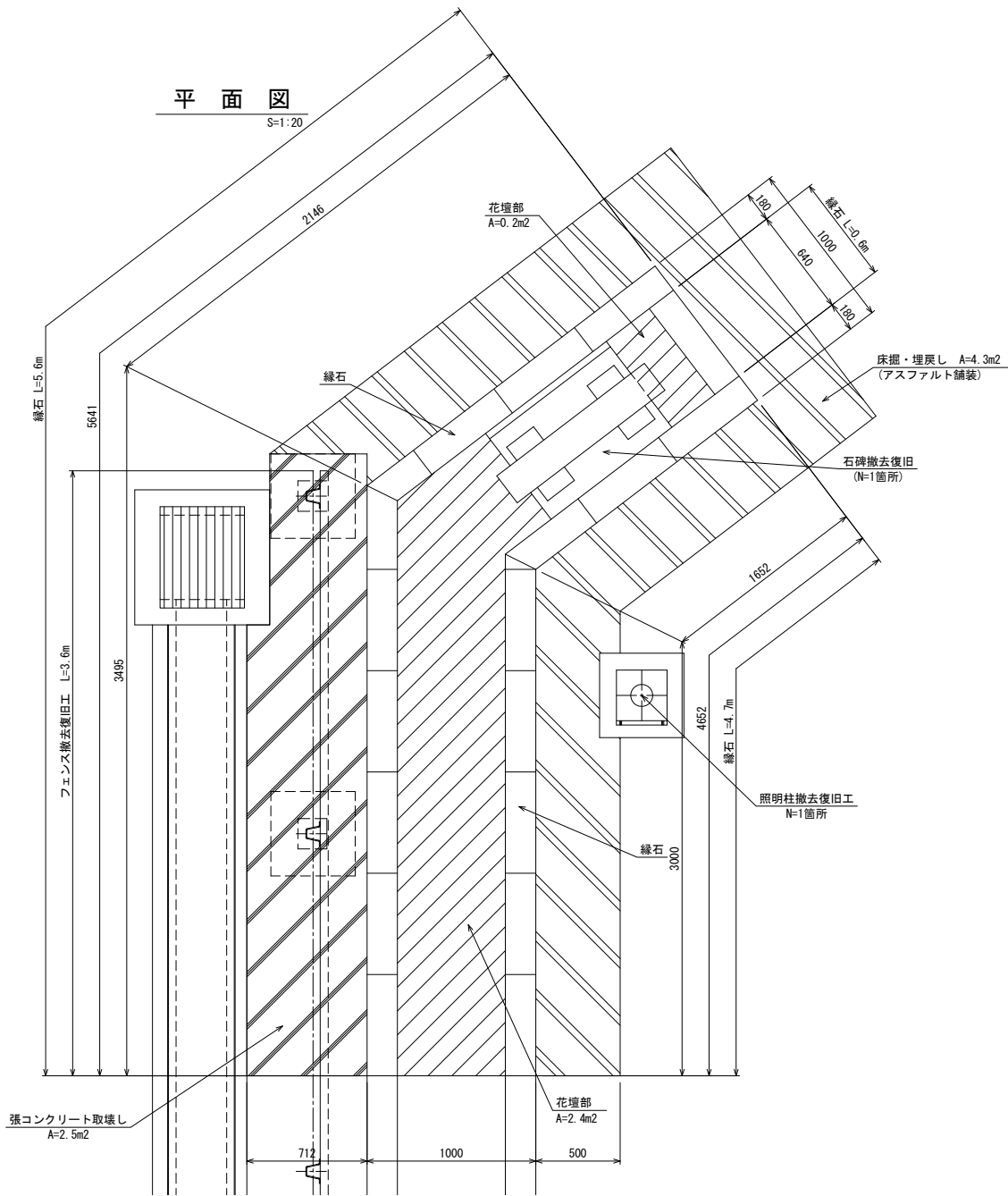
断面図

S=1:20



平面図

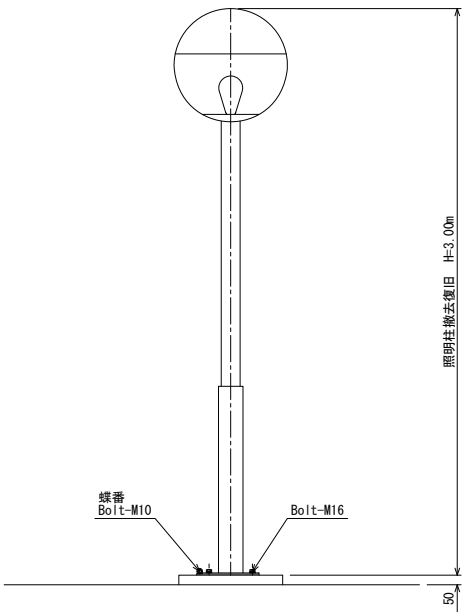
S=1:20



照明柱撤去復旧工

(N=1箇所)

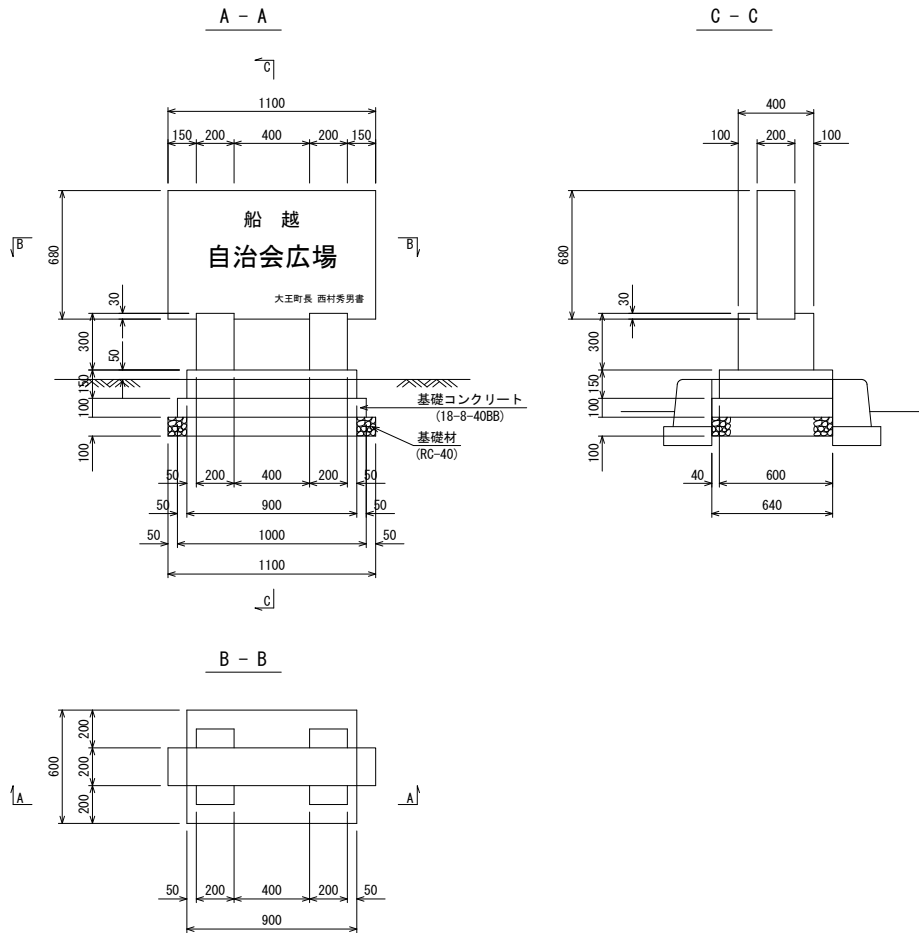
S=1:20



石碑撤去復旧工

(N=1箇所)

S=1:20

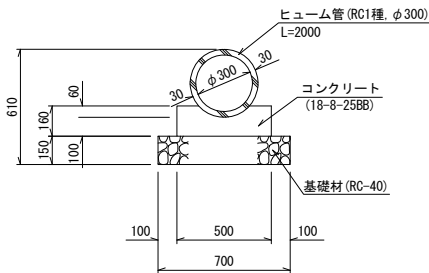


取付管撤去復旧工

管渠工(φ300)

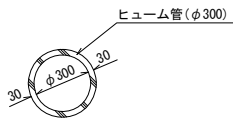
(P1-RC1-D300)

S=1:20



既設取付管

S=1:20



管渠工(φ300)

10m当り

名	称	規	格	単位	数	量	摘	要
ヒューム管	RC1種, φ300, L=2000	本			5.0			
コンクリート	18-8-25BB	m ³			0.7			
型	枠	m ²			3.2			
基礎材	RC-40, t=15cm	m ²			7.0			
床均し		m ²			7.0			

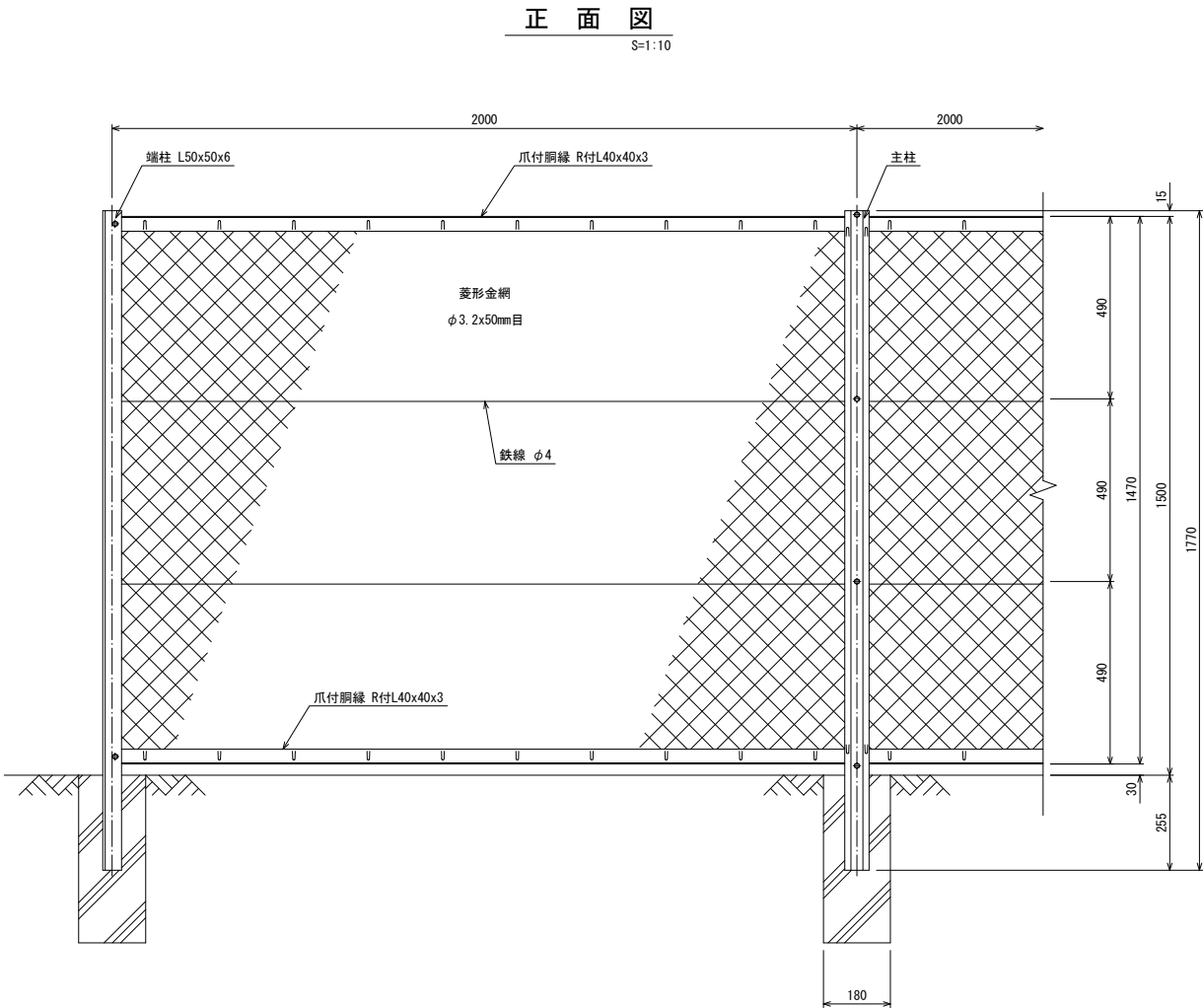
注記：既設構造物においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。

工事名	第2A1大001号 社会資本整備総合交付金事業			
図面名	船越7号橋 橋梁改築工事			
年月日	撤去復旧工構造図(1)			
尺度	図示	図面番号	12	11
会社名	美之内			
事務所名	志摩市			

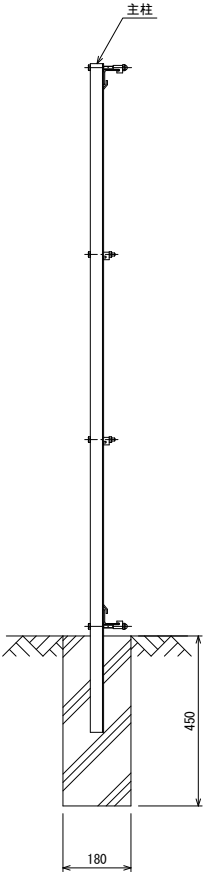
撤去復旧工構造図(2)

フェンス撤去復旧工
垂鉛めっき製、柵高h=1.5m

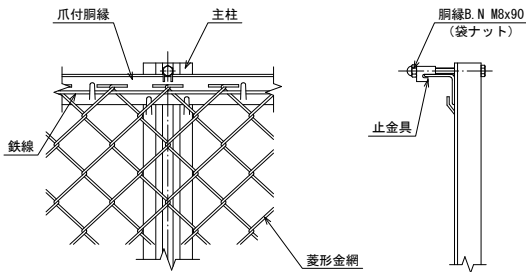
フェンス組立図



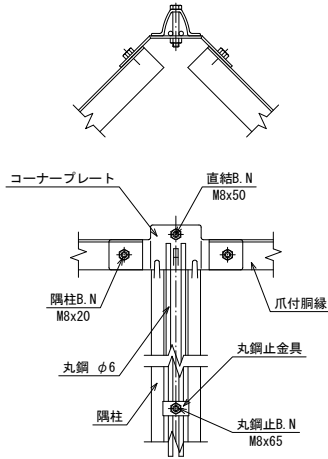
断面図
S=1:10



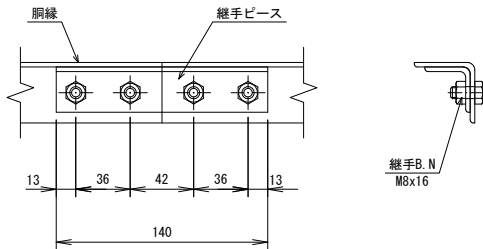
胴縁取付詳細



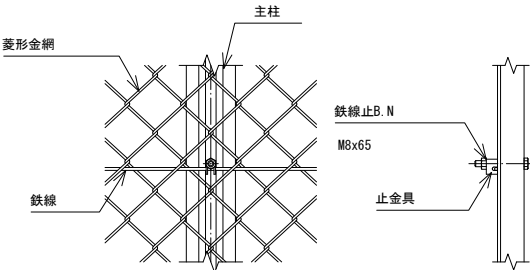
隅柱取付詳細



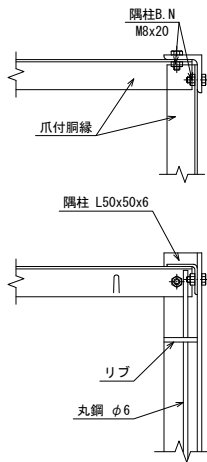
継手ピース取付詳細



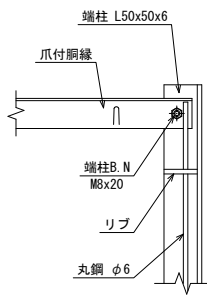
中間鉄線取付詳細



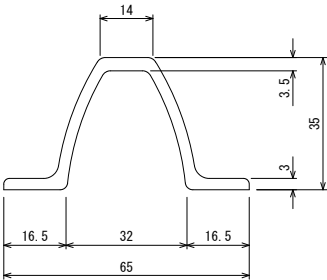
直角 隅柱取付詳細



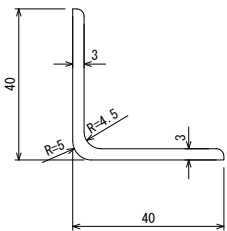
端柱取付詳細



主柱断面図
S=1:1



胴縁断面図
(R付L40x40x3) S=1:1



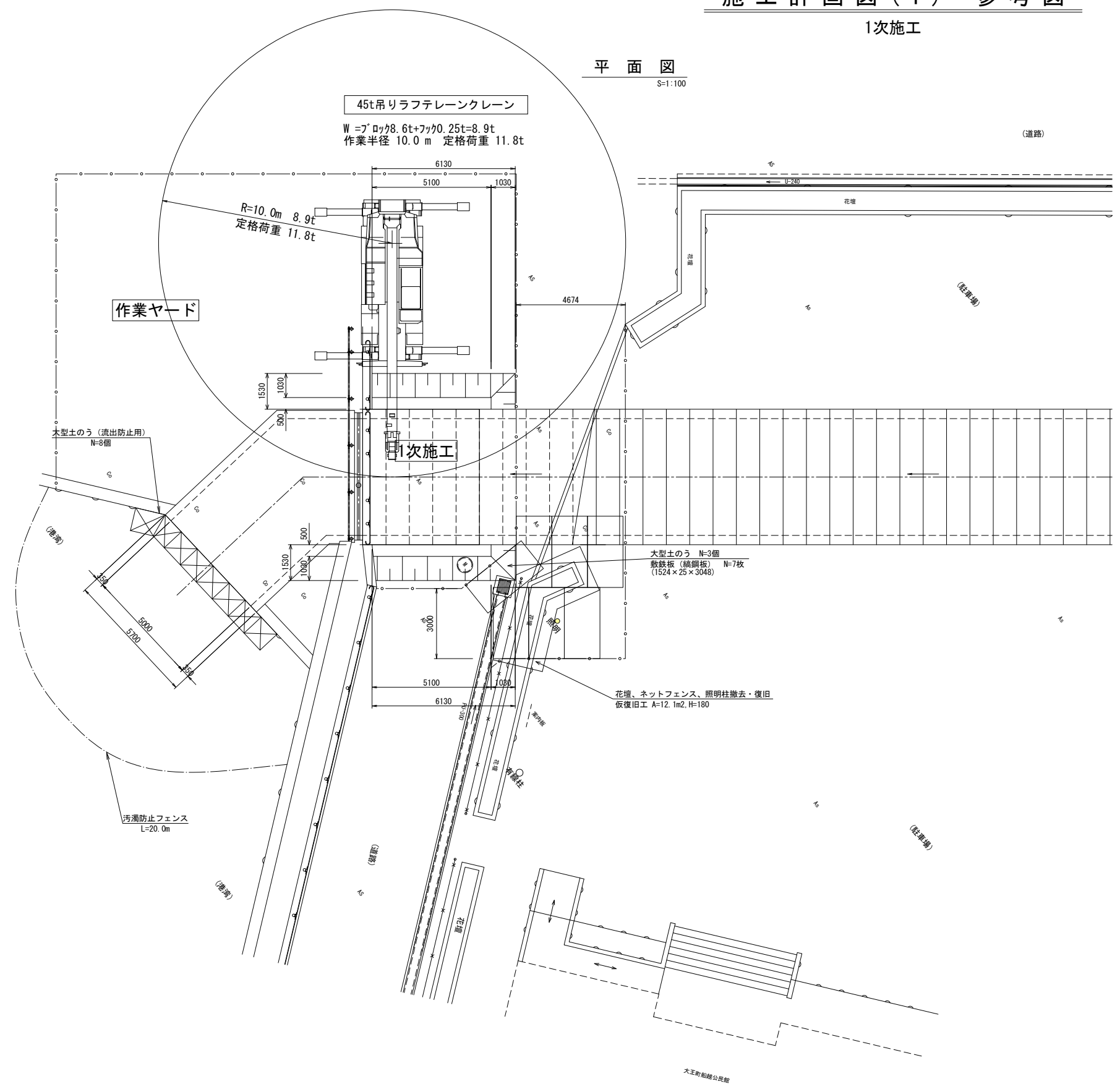
注記：既設構造物においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。

工事名	第2A1次001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事		
図面名	撤去復旧工構造図(2)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	12 表之内 12
会社名			
事務所名	志摩市		

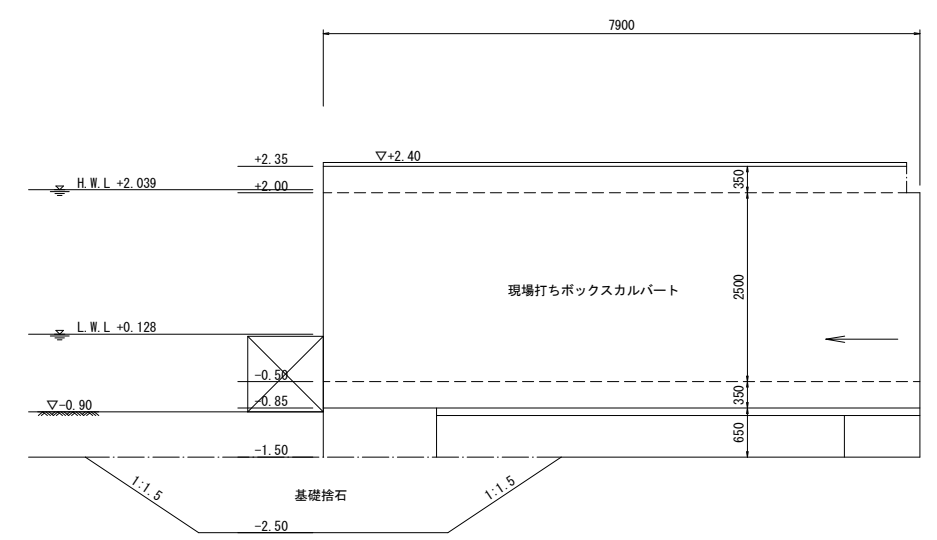
施工計画図(1) 参考図

1次施工

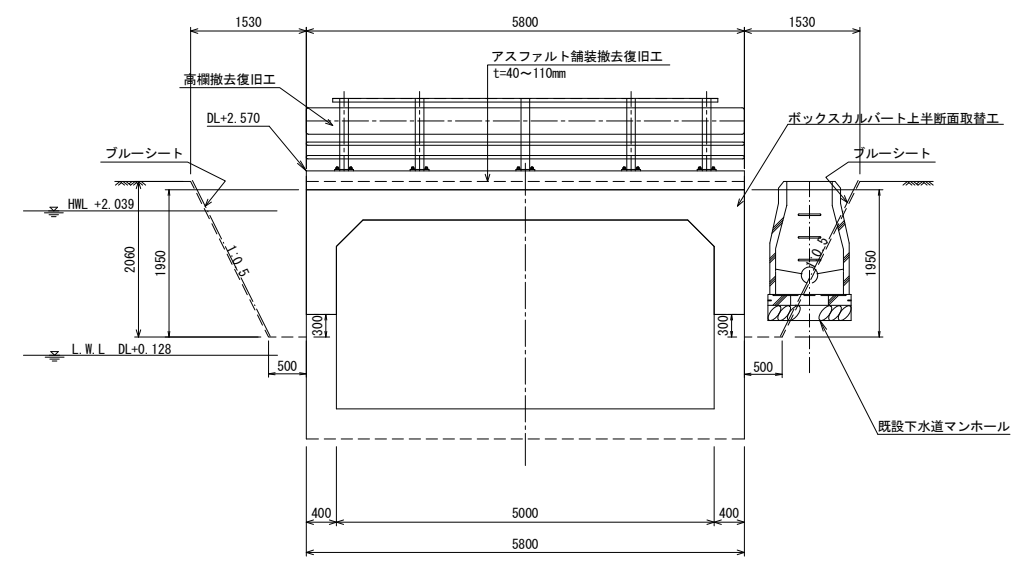
平面図
S=1:100



側面図
(水路吐口部) S=1:50



断面図
S=1:50



注記：1) 本工事は潮待ち作業が発生するため、施工計画立案時にはこれを留意すること。
2) 既設構造物においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。

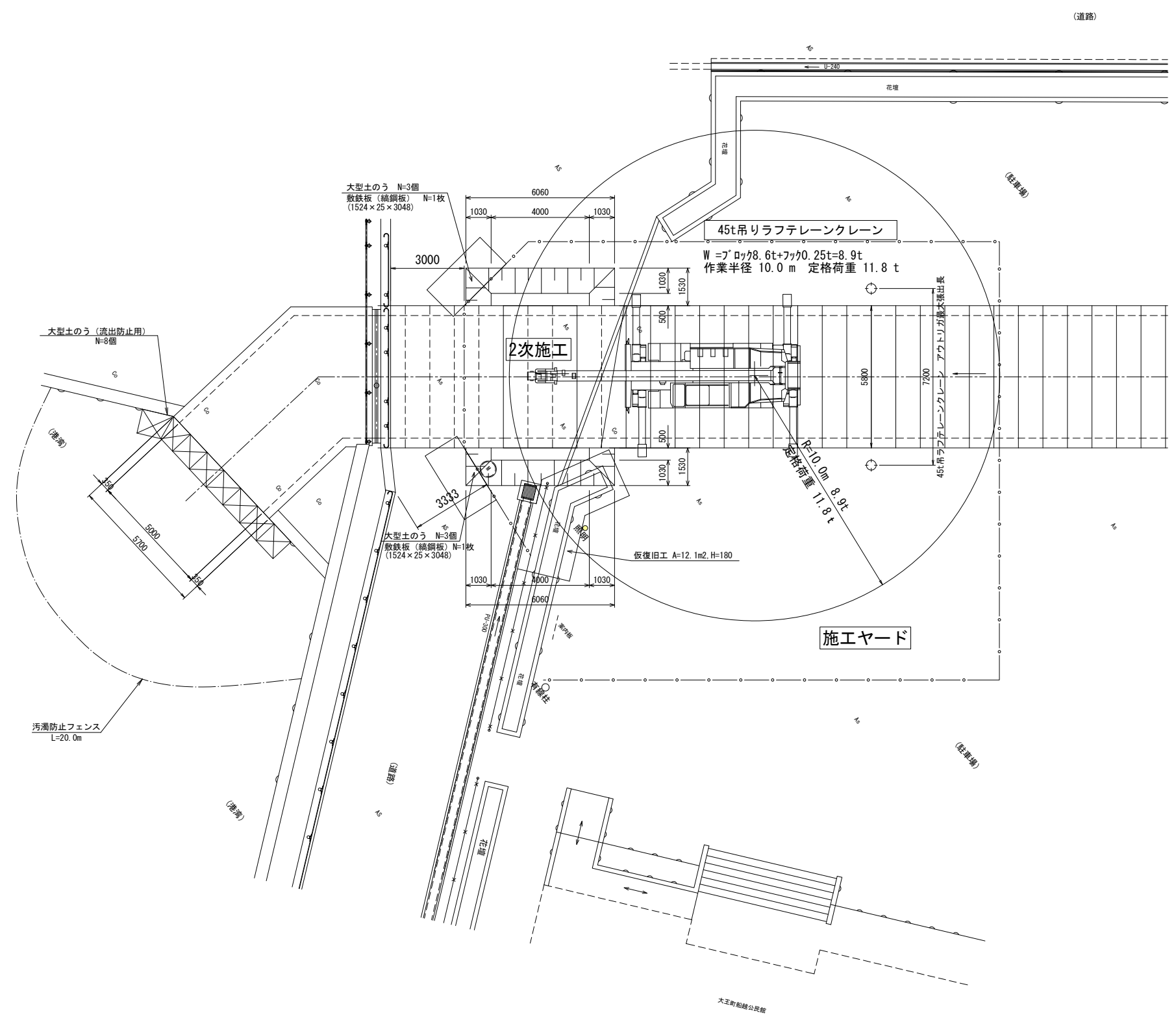
工 事 名	第2A1大001号 社会資本整備総合交付金事業 船越7号橋 橋梁改築工事			
図 面 名	施 工 計 画 図 (1) 参 考 図			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	- 業之内 -	
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

施工計画図(2) 参考図

2次施工

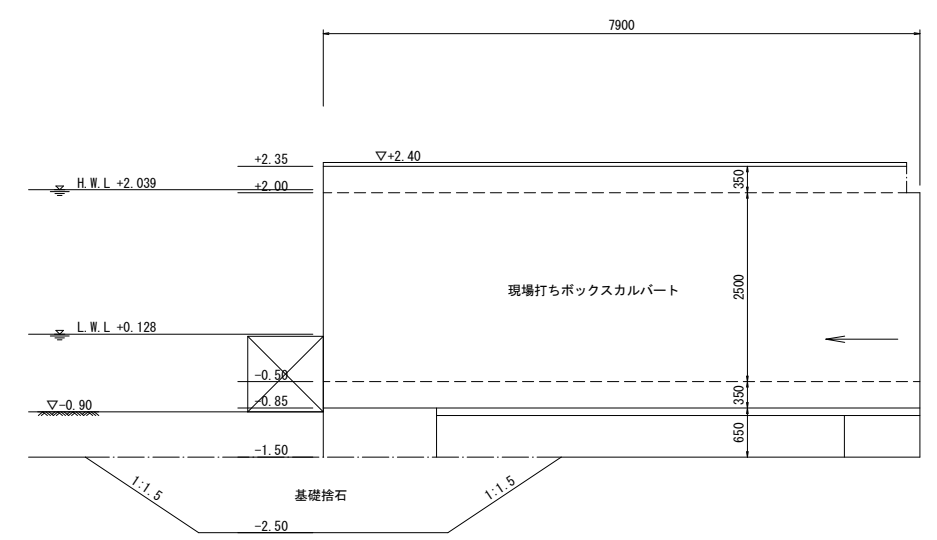
平面図

S=1:100



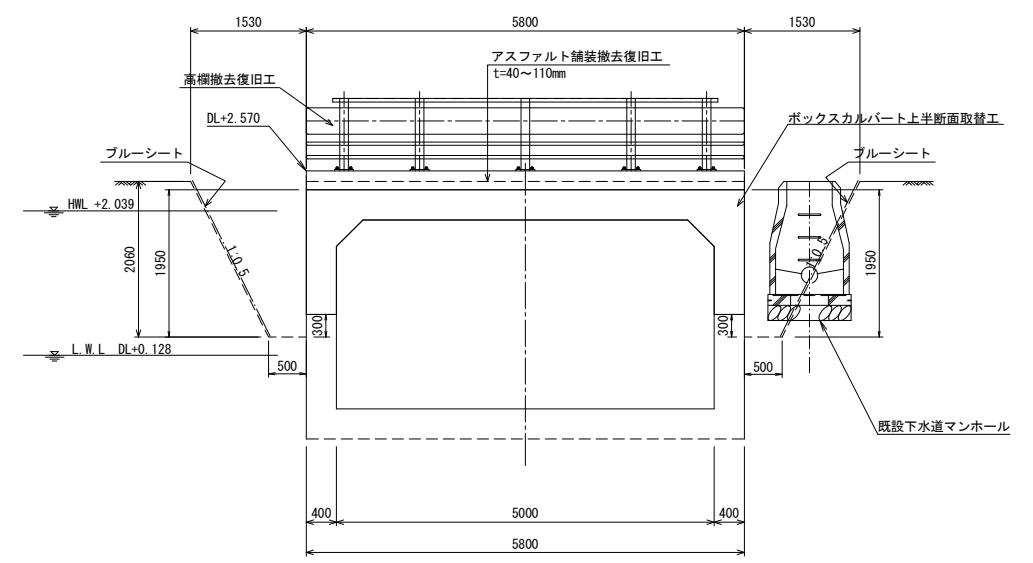
側面図

(水路吐口部) S=1:50



断面図

S=1:50



注記：1) 本工事は潮待ち作業が発生するため、施工計画立案時にはこれを留意すること。
2) 既設構造物においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。

工事名	第2A1大001号 社会資本整備総合交付金事業		
図面名	船越7号橋 橋梁改築工事		
年月日	施工計画図(2) 参考図		
尺度	図示	図面番号	- 業之内 -
会社名			
事務所名	志摩市		